

みんなで朝ごはん事業

検討すべき課題について

～どんな方法であれば実施できるか～

1



第1回検討会の振り返り ～事業の目的等～

(第1回検討会資料より)

【 目 的 】

子どものうちに健全な食生活を確立することは、成長段階にある子どもにとって必要な栄養を摂取し、健やかな体を作り、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育んでいく基礎となります。

「健康的な生活リズムや食習慣を確立」し、地域の将来を担う子どもたちの「確かな学力・体力」と「健全な心身」を地域全体で育むことが目的です。

【 手 段 】

地域・市民・企業・学校・行政が協力して、小学校の家庭科室等で、一人でも多くの児童が、地域の方に見守られながら、「独りではない」環境で、「楽しく」朝ごはんを食べる場を提供します。

2

(第1回検討会資料より)

【 なぜ「みんなで」「朝ごはん」なのか？ 】

「みんなで」

家族や仲間と、みんなで食卓を囲んで食べる「共食」は、食育の原点です。食事のあいさつや箸の持ち方など食事のマナーを身に付ける場であるとともに、地域住民や学年・クラスを越えた仲間と交流し、会話をしながら楽しく食事を摂る場は、人間形成を図る意味でもとても貴重な機会です。

「朝ごはん」

朝ごはんを食べる習慣は、早寝早起きの規則正しい生活リズムを定着化させるなどの重要な役割があります。また、毎日朝ごはんを食べる子どもの方が学力や体力、運動能力において良い結果が出ており、子どもの学習や体力づくりに大きな影響を及ぼしていることが文部科学省の調査で明らかになっています。

3

グループワークの目的

- みんなで朝ごはん事業を行うには、何を決めておくべきか、何が課題なのか、検討すべき項目を抽出すること。
- 抽出された項目について、どう対応していくか、どのような方法があるのかを検討すること。

4

全体の流れ

- ① 決めておくべきことや検討すべき課題(大分類)を付箋に書き出す (3つ)



- ② 検討する課題を整理する

グループワーク



- ③ ②で整理した課題から、さらに課題(小分類)を書き出す



- ④ 課題について検討する

5

グループワークの約束ごと



- ・どんな意見、アイデアも歓迎
- ・多くの人の意見が出るように配慮
- ・相手の意見を否定しないようにする
- ・気軽に明るく楽しく取り組む

6